

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3116 教育の思想			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜4限				
教室	H305教室				
代表教員	辻 直人				
担当教員	辻 直人				
テーマと到達目標	(1) 様々な教育の思想の違いや特徴について説明できる。 (2) 自らの教育に対する考えを持ち、論理的に説明できる。 (3) 比較と客観の視点を持って現実の教育問題を分析できる。				
概要	人が人として育つ上で、教育は不可欠である。しかし、人が育つ目的には、様々な捉え方がある。現代社会において、その捉え方は益々分派しているように見え、かつ、先を見越した先端的内容にばかり心を奪われているようにも見える。そのような混迷の中で、過去や現在の様々な教育思想を通して、教育の本質とは何なのかを追究することが本講義の目的である。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	イントロダクション。I. 習俗としての教育 教育・保育の目的とは				対面授業
第2回	「一人前」という思想：ヒトから人間へ				対面授業
第3回	遊びの教育学				対面授業
第4回	稽古の思想				対面授業
第5回	ライフサイクル論と社会化				対面授業
第6回	II. 制度化された教育 ルソーと教育の「制度化」				対面授業
第7回	ルソーの継承者：ベスタロッチとフレーベルの教育思想				対面授業
第8回	新教育運動の展開：デューイを中心に				対面授業
第9回	日本の新教育運動：大正自由教育を中心に				対面授業
第10回	「学校化」された社会				対面授業
第11回	III. 教育者たちの教育思想 ポルノーの教育思想				対面授業
第12回	成瀬仁蔵の教育思想				対面授業
第13回	竹内敏晴の教育思想				対面授業
第14回	金森俊朗の教育思想				対面授業
第15回	希望の教育：現代・未来に求められる教育とは				対面授業
成績評価の基準	毎回の授業課題提出状況とその解答内容 (50%)、最終レポート (50%)				
履修にあたっての留意事項	毎回の授業資料をよく読み、自らの教育観を広げたり深めたりするように自問自答してほしい。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	オンラインの必要が生じた時は、資料配信とする。				
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし		
教科書	特になし	教科書(ISBN)	
参考文献	適宜授業内で紹介する。	参考文献(ISBN)	大田堯『教育とは何か』岩波新書、1990年 西平直『稽古の思想』春秋社、2019年 竹内敏晴『ことばが劈かれるとき』ちくま文庫、1988年 金森俊朗・辻直人『学び合う教室 金森学級と日本の世界教育遺産』角川新書、2017年 ジョン・デューイ『民主主義と教育』上下、岩波文庫、1975年 その他、適宜授業内で紹介する。